
第1回 日野市介護保険運営協議会
第1回 日野市地域包括支援センター運営協議会
第1回 日野市在宅高齢者療養推進協議会
第1回 日野市地域密着型サービス運営委員会
要 点 録

[日 時] 令和6年7月29日(月) 18:30~20:15
[場 所] 日野市役所5階 505会議室
[内 容]

《開 会》

- 各協議会についての説明
- 委員の紹介、会長・副会長の選任

《在宅高齢者療養推進協議会》

- (1)「日野市在宅療養体制構築のための基本方針」進行管理表(令和5年度実績)及び令和6年度の予定について
- (2)日野市在宅高齢者療養推進協議会 検討部会委員の任命について

《介護保険運営協議会》

- (3)日野市高齢者福祉総合計画の進行管理について

《地域包括支援センター運営協議会》

議題なし

《地域密着型サービス運営委員会》

議題なし

【資 料】

- ・議事次第
- ・【参考資料】介護保険運営協議会等概要
- ・【資料1-①】日野市在宅療養体制構築のための基本方針の進捗状況(令和5年度実績)
- ・【資料1-②】～【資料1-⑦】「日野市在宅療養体制構築のための基本方針」進行管理表(全体総括)及び令和6年度の予定について
- ・【資料2】日野市在宅高齢者療養推進協議会 検討部会員名簿
- ・【資料3-①】第4期日野市高齢者福祉総合計画進行管理表(重点事業・最終評価)
- ・【資料3-②】第4期日野市高齢者福祉総合計画事業評価シート(重点項目以外・最終評価)
- ・【資料3-③】第4期日野市高齢者福祉総合計画の計画値と実績値の比較
- ・【資料3-④】第5期日野市高齢者福祉総合計画進行管理表

- ・【資料 3-⑤】第 4 期日野市高齢者福祉総合計画の進行管理（最終評価）について

〔議事要旨〕

《開 会》

- ・委員数 17 人中 15 名出席。半数以上の出席のため会議成立。
- ・会議の内容について正確を期するため録音をさせていただく。
- ・議事録については要点録として公表させていただく。
- ・各協議会についての説明（事務局より【参考資料】に沿って説明）
- ・委員の紹介（各委員自己紹介）

《会長の選任》

- ①事務局から会長候補者を提案することについて確認（全委員了承）
- ②事務局より天田委員を会長候補に提案（全委員賛同）
- ③天田委員を会長に決定。

《副会長の選任》

- ①天田会長から野田清大委員を副会長に指名。
- ②野田清大委員を副会長に決定。

《在宅高齢者療養推進協議会》

- （1）「日野市在宅療養体制構築のための基本方針」進行管理表（令和 5 年度実績）及び令和 6 年度の予定について

- （2）日野市在宅高齢者療養推進協議会 検討部会委員の任命について

～事務局より説明～

～質疑応答～

委 員：検討部会の委員について、来年以降任期満了による入れ替えの時期はいつになるのか。任期満了により入れ替わりが多い場合、進行が心配である。

事務局：任期は 3 年と一律だが、再任は妨げない規定。

会 長：ジェンダーバランス、団体の構成、対応性等留意された構成である。

委 員：本在宅高齢者療養推進協議会は、長期に渡り関わり関係性を構築し、運営していく必要がある。コロナ禍は、研修会等開催できない期間があった。その期間で新しく委員になられた方もいたので、新たに顔の見える関係作りを構築していくことが大事。以前から委員を務めている方もいるので、まとめて行くことができると考えている。行政職員は定期異動があるので、その中でうまく連携を取っていくことも大事と部会で話しがあった。

勉強会については、時間帯が診療時間等と重なり、なかなか参加できない事情もあった。

《介護保険運営協議会》

- （3）日野市高齢者福祉総合計画の進行管理について

～事務局より説明～

～質疑応答～

委員：柱 1 1303 高齢者見守り支援ネットワークの充実について

見守り推進員の高齢化が懸念される。今後若年化はできないのか。

また、チームオレンジの構成人数等教えてほしい。

事務局：チームオレンジは、有料老人ホームの職員、施設入所者が構成員である。

1 つの施設で月 1 回程度カフェを開催し、認知症の診断を受けた入所者が、スタッフとしてオーダーを受けている。当事者が活躍できる場作りの試験的な取り組み。チームオレンジに加入制限はない。

委員：広く展開しているなら宣伝した方が良く考えていた。今後の拡大見込みはあるのか。

事務局：拡大していきたい。当事者中心の事業としたい。

委員：第 4 期 柱 5 運動事業について

健康課で開催している体操事業は、現在卒業制度があるが、卒業期限後も継続して通いたい等の声を多く聞く。高齢者の健康維持のためにも、体操は多くの方が期限なく続けられるよう検討してほしい。

事務局：主管課へ伝える。体操事業と介護予防事業を連携して行っていく必要がある。

今後も検討を重ね、事業を展開していく。

会長：健康課での体操事業と介護予防事業は、切れ目なくつなげていくことは重要である。

委員：柱 2 介護人材確保事業について

第 4 期の市のマッチング事業の成果で、継続就業している等、現在の雇用データはあるのか。

事務局：継続就業のデータ等資料は現在ない。

委員：第 5 期計画においても就業後のアプローチを継続する旨記載があるので、今後お願いしたい。

次期計画に向けては、ケアマネジャーについても対象としてほしい。

資格取得補助について、初任者研修、介護福祉士実務者研修等は、市内事業所勤務が多いのか。

事務局：市内事業所勤務を補助対象としている。

委員：この件についても継続確認をしていただきたい。

委員：令和 5 年度は、ケアマネジャー試験対象者は一人もいなかったとのこと。残念なことである。

会長：ケアマネジャー等の高齢化による介護人材不足に対応するため、人材確保事業は、第 5 期計画でも非常に重要な論点である。

委員：雇用の確保につながる話しでは、介護職員の賃金の問題がある。都からは、数万円の賃金助成があると聞く。都補助が与える影響は分析しているのか。

事務局：具体的な分析は未だしていない。

委員：柱 1 地域ケア会議について

会議に参加している。自立支援の意味合いが強い。服薬していない場合もあり、薬剤師としてアドバイスができない事もある。薬剤師は薬局の中だけでなく、地域に出て行ってほしいと考える。包括等から、地域の薬剤師として紹介してもらったこともある。地域ケア会議に薬剤師がどのくらい呼ばれているのかが分かれば教えてほしい。

計画の進捗については、目標数値が入っていた方がいいと考える。

事務局：実績値は整理した後回答したい。目標値については、次期計画で検討していきたい。

委員：都賃金助成制度について

現状産業職等と同等の賃金を支払うのは難しい。その中で、今回都が独自に開始した助成事業については、雇用主側としては安心材料である。今後、この制度が雇用の継続や人材確保につながるのか未知数の部分はあるありがたい制度である。

会長：助成制度の利点として、離職が防げる、新規雇用が見込まれることが考えられる。この助成制度で若い方の就業が見込まれるかは、短期間では見えてこない。

委員：現在は都内勤務者対象の制度。今後全国に本制度が広がった場合、プラスになるのかマイナスになるのかは分からないが、制度をきっかけに、もう少し頑張ってみよう考える方がいるのか。

委員：介護施設従事職員からも都の助成制度はうれしいとの声があがっている。今までは介護職員だけだったが、今回は生活相談員等も含めて対象となった。勤務している20代、30代の職員からも高評価である。

委員：資格取得支援事業について

無資格から雇用して、働きながら資格取得してもらっている。就労しながら資格取得したり、キャリアアップのため介護福祉士を目指したりするのに、本事業を有効に活用。今後も制度は継続してほしい。

委員：1102 地域ケア会議の推進 第4期の評価について

吸い上げた地域課題を解決につなげられていない事例とは何か。

事務局：吸い上げた事例で多いのは、集いの場、通いの場、買い物支援等足りていないことである。一部地域では、新たにサロンを立ち上げたり、生活支援体制整備事業等で買い物支援の送迎を行ったり解決策を講じているが、市全体の施策としてどうしていくべきかについては、まだまだ検討が必要であり、今回評価としては、次期計画の課題として報告した。

委員：包括支援センター毎に地域ケア会議を開催している。その会議体の中で、地域課題として買い物支援等必要な方は出ている。一方で、買い物支援は必要ないが、ヘルパー派遣に苦慮している等、各地域で異なる課題がある。今は、課題が出てきたところ。その後どうするかが重要。少しずつでも解決につなげられるよう協力をお願いしたい。

[その他全体を通しての質疑について]

委員：高齢者配食サービスについて

民間の配食サービスの充実を理由に市事業の見直しの話があった。市事業は安価であった。現在は、ヘルパー不足で調理に関われない現状の中、高齢者の食事環境が良くない。市事業としては今後縮小していくのか。

事務局：配食サービスは、見直し中で方向性としては、サービスを継続するため、所得階層に依じての自己負担増で検討している。

[閉会]